

白山ふるさと文学賞

第七回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【暁鳥敏部門】〈作文「母へのおもい」〉

小学生3・4年の部 優秀賞

いつもありがとう

蕪城小学校四年

松井 まっい

彩華 あやか

お母さんはとてもおもしろくて、にぎやかでやさしい人です。

まだ、わたしが小さいころは、わがままを言ったり、あまえたりして、お母さんにめいわくをかけていました。それでも、わたしを一生けん命育ててくれました。わたしが二才半のときお父さんとお母さんがりこんしたので、お母さんだけで育ててくれました。そんなお母さんはつらい顔一つせず、わたしを育ててくれます。

学校がはじまってから、はじめて会う人やなやみがたくさんありました。けど、お母さんはなやみをいっぱい聞いてくれます。

わたしが、遊びに行きたいときは、お仕事のお休みを調節して、花火や、えい画、プール、海などいっぱい、いろんなところにつれていってくれます。そのときわたしはとってもうれしい気持ちになります。

よく、おこられたり、ケンカもしたりします。その時、なぜおこられたのかよく考えます。しかられたことになつとくしたら、いやでもあまりに行きます。するとお母さんは、「そのごめんは何のごめん？」と聞かれます。その時わたしは、自分の考えを言います。そうして、お母さんにわたしの気持ちが伝わったので、なかなかおどかされません。

ごはんを食べるとき、しせいや、おはしのもち方がちがっていたりしたら注意されます。それでわたしは、気をつけようと思います。

テストの点数がわるくても、お母さんは、「自分ががんばったと思っただらそれでいい。」と言ってくれます。その時わたしは、また、お母さんによるこんでもらえるようにがんばろうと思いました。

お買い物に行ったとき、服やくつをいっしょに、楽しく選んでくれたりして、いつもとっても楽しい気持ちになります。またお母さんと買物に行きたいです。

お母さんは、ごはんを作るときにわたしに

「今日はごはん何がいい？」  
と聞いてくれます。それでわたしは、  
「うーん。なんでもいいよ。」

のときもあるし、

「チャーハンがいい。」

というときもあります。お母さんが作るチャーハンはとてもおいしいので大すきです。

三年生の時、学童ですべりだいからおちて、4日くらい学校を休む大けがをしました。

その時、お母さんが、  
「大じょうぶ？ いたくない？」

と、とても心配をかけてしまいました。だから、早くなおそうという気持ちになつたし、すぐわたしがゆうきづけられました。

毎ばん、ねるときに、今日うれしかったことや、つらかったことなど、いっぱいわたしのお話を聞いてくれます。そのときわたしはとっても心の中がスッキリするし、ゆつくりねれます。

それから、お母さんは毎日わたしと、お母さんの服などをせんたくしてくれて、いつもきれいな服をきています。お母さんの、

「きもちよくきてほしいな。」

という気持ちが伝わってきます。だから、わたしもがんばれるし、きれいな服をお母さんにもきてほしいです。

わたしはスイミングの他に、習字をならっています。お母さんは、いつもつかれているのに、送りむかえをしてくれます。わたしはお母さんに、

「いそがしいのにもありがとう。」

と言います。お母さんは、わたしのためならと思っけて送りむかえをしてくれているのが伝わってきます。その時、わたしはいつもがんばっているお母さんに感しやしようと思えました。

お母さんには、これからもずっと幸せにくらしてほし、長生きしてわたしのそばに、ずっといてほしいです。

お母さんが休みの日は、わたしとお母さんが大すきな、CCZなどの

おふろやさんにつれていってくれます。そして、いっしょにしゃべってくれたり、おもしろいことを言ってくれたりします。そのときとても楽しい気持ちになります。

お母さんがひまなときに、たまにわたしと、ゲームをしてくれます。そのときはなんか、楽しい気持ちもあるけど、心がはずんで、ずっとづつづつと思いました。

ならいごとで、わたしはスイミングをならっています。一年生のときはもぐることもできなかったけど、スイミングをならいはじめたらバタフライまでできるようになりました。それはいつもお母さんが、

「がんばってね。」

と言ってくれるからなのもあると思います。だからわたしはこれからも、ずっとスイミングをがんばろうと思うし、とてもうれしくなります。

